

学校祭開催について

担当：三浦

令和5年9月16、17日(土・日)、2日間にわたり学校祭が行われました。出店も含めた開催自体は5年ぶりであり、また、2日間開催が初めてとあって学校学生双方にとって手探り状態のなか、こうして無事に終わられることができました。

一般開放は日曜のみとして、前日の土曜は職員と学生の交友の場として各種イベントや職員が大きな鉄板を使用し、計200食以上の焼きそばを作り皆で青空のもと食するなど、遊びや食を通して体も心も通わせられるイベントになったと思われます。

本番である一般開放日では、学生それぞれが事前準備した出店を中心に汗を流しながら焼き鳥を焼く集団、元銀だこ店員が作るたこ焼きなど、それぞれが各人の役割を確認しあいながら混乱もなく、最後まで売り切ることが出来ました。また、校内では小さなお子様でも楽しめる部屋や体育館では3学科(理学療法、作業療法、看護)の実践的な取り組みの紹介など、こちらでも時間を振り分け学生間で協力し合いながら終わられることが出来ました。小さなお子様からお年寄りなど、年齢層も異なる場面や状況は正しく臨床場面に直結し、柔軟な対応も普段見られない学生の様子なども観察できたことは教員としてとても充実した時間となりました。

今年度は繰り返すとなりますが5年ぶりの出店を含めた学校祭であったため、規模や内容については大きく広げすぎず、次に繋がることをイメージしながら作り上げていきました。様々な意見がある中でも一つの形は示されたのではないかと振り返ります。また、コラボ企画として、旭川調理師専門学校さんにも参画して頂き、数々のおいしい商品を提供していただきました。来ていただいた調理師専門学校の学生さんなどの対応も同学年の本校の学生にとっても良い刺激になったのではないかと思います。

最後に、教員にとって学校で見せる学生の表情などはその学生のほんの一部にしか知れません。学校や実習先、また、行事など様々な場所や時間を有しながら各人の個性や特性を理解しながら教育の現場で伝えられたらと考えております。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。



図1. 学校祭1日目(9月16日)。A) 4種類の焼きそばを参加者全員が昼食で頂きました。B) コーラ早飲み大会の様子です。頑張れ、鈴木先生(黒シャツ)! C) 腕相撲トーナメント大会は極めて白熱していました。D) 水入り風船のキャッチングを失敗すると、お漏らしのような水浴びになりました。



図2. 学校祭の準備。A) 試食で作ったたこ焼きを一足先に美味しく頂きました。B) ~D) 体育館や第1視聴室では、学校祭展示に必要な小道具を集中して学生達が作成しました。そして、前日あるいは当日それらを使って一足先にゲームなどを楽しんでいました。



図3. 2日目（9月17日）の一般開放日での様子。A) 試食しながらたどり着いたレシピは完璧な味のタコ焼きになりました。売り上げは好調でした。B) 恒例のフランクフルト模擬店でも幸先よく売れていました。C) 看護学生が来場者の希望者にバイタルチェックを行いました。また、D) 骨格標本を用いて来場者に骨学の基本を説明していました。わかりやすく楽しいと評判でした。



図4. 一般開放日での野外の出し物。A) カラオケ大会で歌自慢がどんどんエントリーしてきました。宗像先生のドライフラワーはなかなかの完成度でした。B) 初コラボとなった旭川調理師専門学校ブースでは、常に行列ができていました。用意した食品は完売だったそうです。C) 作業療法学科学生がジャンボリーミッキーを披露してくれました。



図5. 集合写真。カメラマンの西口先生は「二階バルコニーからタイマー設定時間では戻れそうもない」ことから、全員マイナス1名で撮影せざるを得ませんでした。緑が丘小学校様および島山建設様にはテントをお貸し頂き、感謝申し上げます。